



生徒も先生も大活躍!

昨日、三観地区学校保健研究発表会が行われ、三豊・観音寺市内の小・中学校の先生方が本校を訪れました。また、医師会代表の先生方も参加され、全体で50名を超える大会となりました。

1年4組の研究授業(大倉先生・川原先生)は、「生活リズムを見直そう」という学習課題の下、基本的な生活習慣である、食事・睡眠・排泄・清潔・衣類の着脱の中から、睡眠にポイントをしぼり、睡眠の重要性や大切さを知ること、生活リズムを見直し、心身ともに健康的な生活を送るための改善点を考えました。

2年1組の研究授業(南先生・木村先生)は、「ストレスマネジメント」について考える授業でした。2年団の先生方による劇が好評で、ずいぶん盛り上がりました。その後、班ごとに劇の続きを考え、その内容をロールプレイすることによって、その場面における気持ちの変化を体感しようとしていました。

参加されていた先生方の声の中からいくつかを紹介します。

- ★ 1年生の授業では、2人の先生の息がピッタリで、テンポよく授業が流れていてとてもよかったです。少ない時間の中でも、こうして授業をすることがとても大切だと痛感しました。
- ★ 中学校の授業は初めてでしたが、板書や進め方がとても丁寧だと感じました。中学生の方が言葉をよく知っているので、教材の深いところまで入り込めるのでおもしろいと感じました。
- ★ 先生のおだやかな顔、前に立った時、生徒との間に目に見えない糸がぴーんと張られていると感じました。小学校でも、担任と子どもたちの信頼関係がとても大切だと感じているので、中学2年である関係を感じることができたのは感動でした。
- ★ 素直でエネルギッシュな生徒のロールプレイが見られてとても参考になりました。本校ではあのような活発なロールプレイはできないと思います。また、先生方のロールプレイからも、協力体制がよくとれていることが感じ取れました。
- ★ 校内ですれ違う生徒がとてもよくあいさつをしてくれました。小学校ではあいさつが課題となっているので、当たり前のようにあいさつのできる生徒の姿に驚き、とても感動しました。



明後日は「浦島デー」です

11月20日(日)は、第2回目の「浦島デー」です。給食試食会には23名、授業参観には227名、講演会には86名の方が参加する予定になっています。お忙しい中、たくさんの保護者や地域の方に見ただけのことを大変うれしく思います。また、廊下には、先日の文化祭で展示した食育の取組や昨日の研究発表会で紹介した学校保健の取組などについても掲示していますので、ぜひご覧ください。

【オーストラリア体験記③】 メルボルンからシドニーまでは、カンタス航空の飛行機に乗る予定だった。ところが、前日からカンタス航空がストライキに入り、飛行機は完全にストップ。別の航空会社への変更もきかず、急ぎょバスで移動することになった。しかし、バスと運転手がなかなか見つからない。それもそのはず、メルボルンからシドニーまでの距離は900km以上。三豊市から東京へ行くよりまだ遠いのだ。それでも何とかバスをチャーターすることができ、午後1時30分にバスでメルボルンを出発した。

「ピンチをチャンスに」の言葉のように、大自然の中をバスで走れる体験ができるとらえ、バスの窓からの風景を楽しみにしていた。ところが、何キロ走ってもいっこうに景色は変わらない。果てしなく広がる大草原が延々と続いている。最初は物珍しさにカメラのシャッターを押しまくったが、途中からは飽きてしまった。すると、我々のアドバイザーとして同行していた学習院大学の先生が、「カンタス航空はアカンタス」というギャグで我々を和ませてくださった。さすが「ギャグ習院大学」であると思った。それ以後、私は彼に対してライバル意識を持つようになった。そして、午前0時20分。メルボルンを出発してから約11時間、ようやくシドニーのホテルに到着した。疲れ切った私たちであるが、研修をストライキすることもできず、早速その日の朝からシドニーでの研修が始まった。カンタス航空のストライキは、まだ続いていた。(つづく)